

社会資本整備審議会 道路分科会 第11回北海道地方小委員会

議事概要

1. 日 時 平成28年3月7日(月) 10時00分～11時00分

2. 場 所 札幌第一合同庁舎 10階 第1・2号会議室

3. 出席者

[委員長]

田村 亨 北海道大学大学院 教授

[委員]

菅井 貴子 気象防災キャスター

高橋 清 北見工業大学 教授

平岡 祥孝 札幌大谷大学 教授

4. 議 事

(1)平成28年度予算に向けた道路事業(直轄事業)の新規事業採択時評価について

- ・一般国道5号(北海道横断自動車道)倶知安余市道路(倶知安～共和)
- ・一般国道236号(帯広・広尾自動車道)大樹広尾道路(忠類大樹～豊似)

【委員からの主な意見】

○一般国道5号(北海道横断自動車道)倶知安余市道路(倶知安～共和)

- ・当該地域は道内有数の豪雪地域であることから、冬期の気象状況も考慮し、道路構造を検討していく必要がある。
- ・当該区間の整備による高次医療施設への時間短縮効果が大きいことから、早期に整備する必要がある。

○一般国道236号(帯広・広尾自動車道)大樹広尾道路(忠類大樹～豊似)

- ・十勝港は貨物量が増加する一方で、輸送トラックが不足している状況から、当該区間の整備により、物流効率が向上すると考える。

○その他全般

- ・費用便益はネットワーク全体として分析する必要があると考えており、ジャンクション間で分析していることは評価できる。

【委員長による総括】

一般国道5号（北海道横断自動車道）倶知安余市道路（倶知安～共和）
一般国道236号（帯広・広尾自動車道）大樹広尾道路（忠類大樹～豊似）
の新規事業化については妥当である。

以上